

1 市民革命の始まり

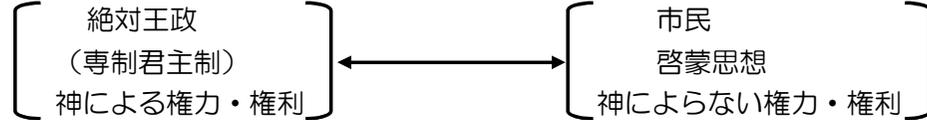
P138~

(1) 【 近代化 】 (17~19c) ヨーロッパにおける社会の変化
〔変化のポイント〕

政治 … 【 市民社会 】 身分によらず、平等な市民による社会
産業 … 工業の発達 → 資本主義社会

(2) 啓蒙思想

P140~



※ 啓蒙思想によって生まれた考え

すべての人が生まれがらに持つ権利 = 【 基本的人権 】 を尊重する
… 自由や平等である権利

〔啓蒙思想家〕

- ① (ロック) 〔英〕 (社会契約) 説・抵抗権を主張
『市民政府二論』
- ② (モンテスキュー) 〔仏〕 (三権分立) … 国家権力を3つに分ける
『法の精神』
- ③ (ルソー) 〔仏〕 (社会契約) 説・ (人民) 主権
『社会契約論』

2 市民革命①

P138~

(1) イギリス

【 議会 】 ← 地主・商工業者の政治への進出
≡ピューリタン (清教徒)



クロムウェルの指導で国王を処刑
王政 → 【 共和政 】
〔革命1〕 【 ピューリタン革命 】 (清教徒革命)

のちに独裁政治を開始 → 王政 (議会と対立)

国王追放・オランダから新国王

〔革命2〕 【 名誉革命 】

【 権利の章典 】 … [(国王) の権利] < [議会の権利]

〔成果〕 【 立憲君主制 】 と (議会政治) の確立

2 市民革命①

P138~

第5部第1章

(2) アメリカ … (イギリス) の植民地
アメリカの代表がない、イギリス議会で新しい税の課税が決定
→ 【 アメリカ独立戦争 】 (1776) 【 独立宣言 】
(1787) (合衆国) 憲法をつくる

2 市民革命②

P140~

(1) 【 フランス革命 】 (1789) (仏)
〔 第一身分・第二身分 〕 ⇔ 第三身分
(聖職者) (貴族) (平民) 人口の9割
免税の特権 (納税) の義務 = 不満

【 人権宣言 】 … 基本的人権の尊重・人民主権を
王政 → 共和政

(2) 共和政を守るために

ヨーロッパ諸国からの攻撃 … 王政否定に危機感

【 ナポレオン 】 … 攻撃を撃退

自由・平等・所有権を保証した法律

武力でヨーロッパを征服



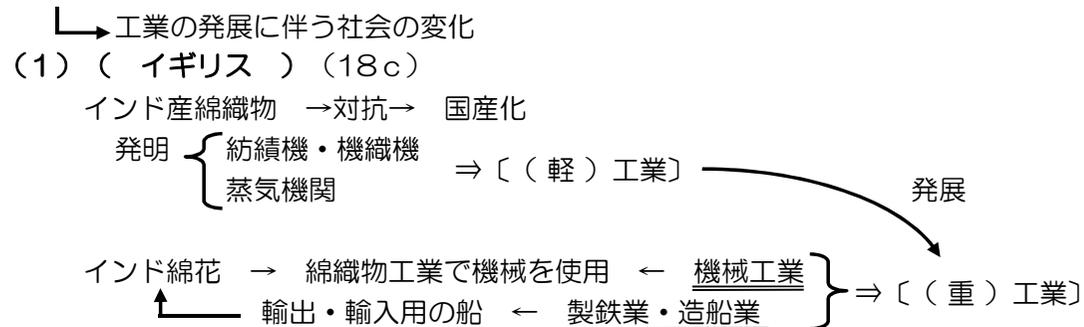
自由・平等の考えが広まる



日本へ

3 産業革命

P142~



(2) 【 資本主義 】

- └資本家が労働者を雇い
- 利益をめざして生産活動を行う (行っていいという考え方)
- (18c後~) イギリス 人口増 → 食料不足
- 大地主 … 土地を買い込み (大規模) に生産
 - 土地を失った農民
 - 機械に仕事を奪われた手工業者
- } ⇒ 仕事を求めて (都市) へ
- ※ 資本主義を支える
豊富な労働力

(3) 労働運動

- [労働環境] (低) 賃金 ・ (長) 時間労働
- [生活環境] 人口が都市に (集中) ・ 環境 (悪化)
- (労働組合) … 労働者が生活と権利を守るために団結
 - 【 社会主義 】 … 労働者中心の平等な社会をめざす
- └ドイツの (マルクス) など
- ※ 経済・社会の担い手となった、
(資本家) や (労働者) による選挙権の要求

4 欧米の世界進出

P144~

(1) 【 近代国家 】

└産業革命 + 自由・平等の考え方

→ 人々を「国民」として一つにまとめる国の誕生

<アメリカ>

	[中心的な産業]	[貿易の考え方]	[奴隷制について]
北部	工業 (綿)	保護貿易	反対
南部	農業 (綿花)	自由貿易	賛成

(1861) 【 南北戦争 】 → 【 リンカン 】大統領の (北) 部が勝利

<ドイツ>

プロイセン王国 (ビスマルク 首相) の統一

(1871) (プロイセン) 建国

<ロシア>

皇帝の専制政治 … { 南下政策の失敗
西欧諸国に対する遅れ → 制度改革・シベリア進出

(2) 世界進出

イギリス … 「 世界の工場 」 (19c)

↓

【 植民地 】 { 工業製品を売るための (市場)
(安) い原料の入手先

↓

インド … 手工業への打撃

(1857) 【 インド大反乱 】 … 鎮圧後、植民地支配の拠点に

※ 他の欧米諸国もアジアやアフリカに進出